

単元名	がっこう だいすき			教科書のページ	p.1～26
配当時数	20 時間	活動時期	4～6 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(1) 従たる内容:(4)(8)(9)

単元の目標		学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
がっこうの ことが しりたいな			
・みんなで教室や学校を見て回り、教室や学校の施設が自分の生活にどう関わっているのかを考え、安心して遊びや生活をすることができるようにする。 p.4～7	5	①～⑤：下記の学習活動を、合科・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をして実施する。 ・友達と自己紹介をし合う。 ・教室の施設の役割や使い方を、教師や友達と話す。 ・みんなで学校の中を見て回り、教室や学校の施設の役割を、教師や友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・行動観察 [態度]発言・行動観察
みんなと なかよく になりたいな			
・友達や学校生活を支える人々と関わり、安心して遊びや生活をすることができるようにする。 p.8～9	3	①～③：下記の学習活動を、合科・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をして実施する。 ・友達と一緒に遊ぶ。 ・みんなで遊んだことを、友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [思判表]発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
ともだちと がっこうを たんけんしよう			
・自分が興味をもった場所へ探検に行き、そこにあるものや、その役割について考え、学校の施設の位置や働きなどに気付くことができるようにする。 p.16～17	3	①～②自分が興味をもった場所に探検に行き、教室で見付けたことを教師や友達と話す。 ③場所や時間を変えてもう一度探検に行き、見付けたことを教師や友達と話す。	[知技]発言・行動観察 [知技]発言・行動観察
がっこうに いる ひとと なかよく なるう			
・学校にいる人と直接関わる中で、	4	①～②学校にいる人に、仕事のこ	[知技]発言・行動観察

自分たちの学校生活を支えている人々との関わりを見付け、その働きや役割などに気付き、学校の人や施設と関わろうとすることができるようになる。 p.18～19		とや学校のことなど、自分が知りたいことを聞きに行く。 ③聞いてきたことを友達と話し、次の探検に行く場所や人について話し合う。 ④もう一度自分の知りたいことや気になることを学校の人に聞きに行く。教室に戻って、聞いてきたことや気付いたことを教師や友達に話す。	[思判表] 発言・行動観察 [態度] 発言・行動観察
がっこうで みつけた ことを つたえよう			
・学校探検で見付けたものや気付いたことを友達と伝え合う活動を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して生活を送ることができるようにする。 p.20～21	3	①学校探検で心に残ったものや人を絵や文字など、自分なりの方法で表す。 ②～③絵や文字などで表現したものを見せながら、学校探検で見付けたことを伝え合う。学校の施設やそこにいる人について、みんなで話す。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
みんなで つうがくろを あるこう			
・みんなで通学路を歩き、自分たちの通学路の施設や安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、ルールやマナーを守って安全に登下校することができるようにする。 p.22～23	2	①～②みんなで通学路の一部を歩き、地域の人々や安全を守っている人々と触れ合い、安全な歩き方を知る。教室に戻り、安全な登下校をするためのルールやマナーについて、教師や友達と話す。	[知技] 発言・行動観察 [思判表] 発言・行動観察 [態度] 発言・行動観察

単元名	きれいに さいてね			教科書の ページ	p.27～39
配当時数	8 時間	活動時期	6 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、植物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
たねを まこう			
・育てる植物を決めたり、たねをまいたりして、たねの色や形、大きさなどの特徴に気付き、成長への願いをもち、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。 p.28～29	2	①～② 幼児期の経験を話し合っ て、育てる植物を選び、たねや鉢、土などの準備をしてたねをまき、その喜びや成長への願いを絵や文で表現する。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
せわを しよう			
・植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることに気付くとともに、適切に世話を続けることができるようにする。 p.30～31	1	常時活動 休み時間などを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを友達と相談したり、記録したりしながら世話を続ける。 ①植物が倒れそうになったり、つるが絡まったりするなどの問題が起きたら、みんなで解決策を話し合い、実行する。	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
はなの ようすを つたえよう			
・開花の喜びを絵や文で表現したり、花で遊んだりなど植物の成長の様子に関心をもって働きかけ、植物への親しみをもちつことができるようにする。 p.32～33	2	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。 ①つぼみや花の様子を観察し、開花の喜びを絵や文で表現する。 ②開花した花を残すため、押し花や叩き染めなどをする。	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
たねを とろう			
・自分が世話をしてきた植物のたね	3	常時活動 休み時間などを使って植	[知技] 作品・発言・行

を集めたり，今までの活動をまとめたりして，植物が生命をもっていることや，自分が大切に育てることができるようになったことに気付くことができるようになる。 p.36～37		物の様子を観察し，たねを集める。 ①集めたたねを観察したり，数を数えたりする。 ②～③これまでに書いた記録カードを活用して，まとめの作品をつくり，友達と見せ合いながらこれまでの栽培活動を振り返る。	動観察 [態度]作品・発言・行動観察
あきにも そだてよう			
・秋から育てられる植物があることを知り，これまでの経験を生かして，新たな栽培活動に取り組むことができるようにする。 p.38	外	・育てたい植物を選び，たねをまいたり，苗や球根を植えたりする。 ・開花を楽しみにし，成長の様子を観察しながら，親しみをもって世話を続ける。	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	なつが やって きた			教科書の ページ	p.40～56
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4)(5)(6) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いたりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れて自分たちの生活を楽しくしようにすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようにしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
こうていで くさばなや むしを さがそう			
・草花や樹木、虫などの動植物の様子に直接働きかけ、身近な動植物の特徴を見付け、草花や樹木を使って工夫して遊び、自然の様子に気付くことができるようにする。 p.42～43	2	①校庭で、夏の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したりする。 ②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使うものを工夫してつくったりする。活動を振り返り、気付いたことをカードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
みんなの こうえんで あそぼう			
・ルールやマナーを守って、公園の遊具や自然物を使って遊び、公園にはみんなで使うものがあることや、利用方法やきまりが存在していることが分かり、大切に利用することができるようにする。 p.44～45	3	①～②安全に気を付けて、身近な公園まで歩いていき、公園で遊ぶ際のルールやマナーを確認しながら、遊具や自然物を使ってみんなで楽しく遊ぶ。 ③学校に戻ったらすぐに、公園で気付いたことを話し合い、記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察
みずで あそぼう			
・水を利用して、何度も繰り返し遊びながら、遊びに使う物を工夫してつくり、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、みんなと遊びを創り出すことができるようにする。 p.46～47	2	①身の回りにあるものを使って、水を利用した遊びを楽しむ。 ②道具を工夫しながら水を利用した遊びを楽しむ。	[思判表]作品・発言・行動観察
あめあがりの こうていを たんけんしょう			
・雨あがりの校庭の自然に直接働きかけ、晴れの日との違いや雨の日の特徴を見付け、気付いたことを生かして自分の生活を楽しむことができるようにする。	外	・雨あがりの校庭の様子や自然の様子を観察したり、自分で考えた雨の日の遊びを楽しんだりする。	[知技]作品・発言・行動観察

p.48～49			
たのしかった ことを つたえよう			
・夏の自然と自分との関わりを振り返り、友達と交流することを通して、夏の自然と関わる楽しさに気付き、それらを取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとする ことができるようにする。 p.52	1	①夏の自然を観察したり、遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	[態度]作品・発言・行動観察

単元名	いきものと なかよし			教科書の ページ	p.57～65
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)

単元の目標		身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に取り組む態度	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
むしを さがそう			
・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの生息している場所を見付け、虫の特徴や育つ場所に気付き、捕まえた虫を教室で飼育しようとするができるようになる。 p.58～59	3	①校庭などに出かけ、虫を探したり、観察したりする。教室で、虫を見付けた場所や捕まえ方を話し合い、虫を捕まえる計画を立てる。 ②準備をして、虫を捕まえに行く。 ③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方を話し合い、記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
むしと なかよく なろう			
・捕まえた虫を観察したり、餌やすみかを用意したりするなど、虫の育つ場所や変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付き、親しみをもち大切に飼うことができるようにする。 p.60～61	3	①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 <u>常時活動</u> 休み時間などを使って、餌を用意したり、すみかを整えたりして、虫の世話をする。 ②気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 ③虫をこれからどうするか話し合い、元いた場所（捕まえた場所）に帰す。	[知技]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
みんなで どうぶつを かおう			
・友達と一緒に、動物の立場に立って世話の仕方を決め、継続的に世話をし、それらが生命をもっていることや成長していることに気付き、親しみをもち、大切にすることができるようにする。 p.64～65	外	・動物の飼育環境を整えて継続的に飼育し、観察する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

単元名	たのしい あき いっぱい			教科書の ページ	p.66～82
配当時数	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(5)(6) 従たる内容:(3)(4)(8)

単元の目標		秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
こうていで あきを さがそう			
・草花や樹木、虫などの動植物に直接働きかけ、夏の様子と比べながら違いや特徴を見付け、自然の様子や四季の変化に気付くことができるようにする。 p.68～69	3	①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したり、木の実などを使って、その場で、友達と簡単な遊びを楽しんだりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
こうえんで あきを さがそう			
・秋の公園に出かけ、動植物を観察したり、自然を利用して遊んだりし、夏の頃と比べながら違いや特徴を見付け、身近な動植物の様子が夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.70～71	3	①～②身近な公園に出かけ、公園で遊んだり、秋の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察
はっぱや みで あそぼう			
・秋の自然に直接働きかけて遊び、秋の自然物を比較したり分類したりして、身近な秋の自然の違いや特徴を見付け、季節によって生活の様子が変わること気付くことができるようにする。 p.72～73	3	①～②秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくりたりして、友達と楽しく遊ぶ。 ③秋の自然を利用して遊ぶ楽しさや友達と遊ぶ楽しさなどについて振り返り、気付いたことを友達と話し合い、記録カードにか	[思判表]作品・発言・行動観察

		く。	
あきの ことを つたえよう			
・秋の自然と自分との関わりを振り返り、夏の様子と比較して違いや特徴を見付け、身近な自然の四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。 p.74	1	①秋の自然を観察したり、遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	[知技] 作品・発言・行動観察
あきの おもちゃをつくろう			
・校庭や公園で集めた葉や木の実などを使って、遊びに使う物を工夫してつくり、遊びの面白さや、自然の不思議さに気付くことができるようにする。 p.76～77	7	①校庭や公園で集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料だけを使って遊ぶ。 ②～③おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊ぶ。 ④～⑤自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりしながら遊ぶ。 ⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるように、つくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
いっしょに あそぼう			
・自分がつくった遊びで園児と楽しく遊ぶ中で、遊びや遊びに使う物をさらに工夫してつくり、友達や園児と一緒にルールをつくって遊ぶことの面白さに気付く、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.78～79	4	①～②園児と楽しく遊べるように、おもちゃの作り方や遊び方を工夫する。 ③園児と一緒におもちゃで楽しく遊ぶ。 ④おもちゃで楽しく遊び、気付いたことを話し合い記録カードにかく。	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	じぶんで できるよ			教科書の ページ	p.83～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(2) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどについて考え、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、生活上必要な習慣や技能を身に付け、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家族のことや自分でできることなどを見付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
じぶんの いちにちを みつめよう			
・自分の家庭生活を見つめ直し、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。 p.84～85	3	①家庭での、自分の1日の生活を振り返る。自分の1日の生活を調べる。 ②調べてきたことを基に、自分の1日の生活をワークシートにかく。 ③友達と、ワークシートを基にして、見付けたことや気付いたことを話し合う。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
じぶんで できる ことを しよう			
・家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを見つめ直し、家庭生活における自分の役割や、自分でできることを見付け、家庭での自分の役割を積極的に果たそうとすることができるようにする。 p.86～87	6	①家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。 家庭 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。 ②調べてきたことを伝え合う。 ③家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。 家庭 自分でできることに取り組む。 ④～⑤自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできることを考え、記録カードにかく。 家庭 自分が考えたことに取り組む。 ⑥家庭で取り組んだことを振り返	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

		り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、グループで伝え合う。	
これからも つづけよう			
自分の家庭での役割を継続的に果たしたり、増やしたりするとともに、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとするができるようにする。 p.88	3	①自分がさらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。 家庭家庭や学校で、自分が続けたこと、挑戦したいことに取り組む（1週間程度）。 ②自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。 ③（期間をおいて）自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
むかしから つたわる あそびを たのしもう			
地域の人に昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気づき、進んで触れ合い、交流しようとするができるようにする。 p.90～91	外	- 地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。 - 楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	ふゆを たのしもう			教科書の ページ	p.92～104
配当時数	9 時間	活動時期	1 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4)(5)(6) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、身近な自然を取り入れ自分たちの生活を楽しくしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
こうていで ふゆを さがそう			
・冬の自然に直接働きかけ、夏や秋の様子と比べながら違いや特徴を見付け、自然の様子が、冬になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.94～95	2	①～②校庭で、冬の草花や樹木、虫などの動植物の様子を観察したりして、気付いたことをカードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
ふゆの こうえんに いこう			
・公園を支えている人々と直接触れ合い、支えている人々のよさを感じたり働きを捉えたりして、公園には、自分たちが気持ちよく使えるように支えてくれている人々がいることなどが分かり、大切に利用することができるようにする。 p.96～97	3	①～②冬の公園へ行き、公園で遊んだり、公園に来ている人と関わったり、公園を管理している人にインタビューしたりする。 ③夏や秋に遊んだ時のことを思い出し、自然や生活の様子の変化、公園を利用している人のこと、掃除や管理をしている人のことなどを話し合い、気付いたことを記録カードにかく。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
そとで あそぼう			
・風車や凧など風を利用した遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、友達と楽しく遊ぶ面白さや、風によって起こる自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.98～99	3	①風を利用して友達と一緒に簡単な遊びをして楽しく遊ぶ。 ②風を利用した遊びに使う物をつくり、風を利用して友達と一緒に楽しく遊ぶ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして自分の遊びに使う物をさらに工夫するとともに、気付いたことを記録カー	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

		ドにかく。	
ゆきや こおりで あそぼう			
雪や氷を利用して、繰り返し試しながら遊びをつくり、雪や氷の起こす自然の不思議さや遊びの面白さに気づき、友達と力を合わせて遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.102～103	外	- 体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と楽しく遊ぶ。 - 友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。	[知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
ふゆの ことを つたえよう			
冬の自然と自分との関わりを振り返り、夏や秋の様子と比較して、身近な自然の様子や特徴を見付け、四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることなどに気づき、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするようにする。 p.104	1	①冬の自然を観察したり、遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。	[態度] 作品・発言・行動観察

単元名	もう すぐ 2 ねんせい			教科書の ページ	p.105～114
配当時数	18 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(8)(9) 従たる内容:(1)

単元の目標		入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べて、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだり、自分のことや支えてくれた人々について見付けたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
あたらしい1ねんせいを しょうたいしよう			
・来年度入学してくる新しい1年生に、喜んでもらいたいという思いをもち、新しい1年生の気持ちを想像しながら関わり方を決めて関わり、新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付き、新しい1年生と交流することができるようにする。 p.106～107	7	①入学した頃のことを想起し、新しい1年生にどんなことを教えたいか、何を一緒にしたいかを話し合う。 ②～④新しい1年生を招待する準備をする。 ⑤会場の準備や練習をする。 ⑥～⑦新しい1年生を招待して、一緒に活動する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
しょうたいした ことを はなしあおう			
・新しい1年生と自分たちの姿を比べて、入学してからの自分の成長を実感し、自分の成長に気付くことができるようにする。 p.108～109	2	①会場の後片付けとともに、新しい1年生と関わって感じたことや気付いたことを話し合う。 ②幼稚園などから送ってもらった手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができたことや、1年間の成長などを振り返る。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
いちねんかんを ふりかえろう			
・入学した頃の自分と今の自分とを比べて、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。 p.110～111	3	①写真やビデオなどの手がかりを基に、みんなで、1年間の出来事を振り返る。 ②記録(学習)カードや作品を整理してまとめ、自分の1年間の変容を捉える。 ③4人ずつ程度のグループになり、自分たちが大きくなったこ	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

		とや、できるようになったこと、 役割が増えたことなどを伝え合 う。	
ありがとう わたしたちの きょうしつ			
・新しい1年生のために、自分たちが1年間にしてきたことを作品にまとめることを通して、自分の成長と周囲の人々の存在を関連付け、自分の成長に気づき、周囲の人への感謝の気持ちと、自分の成長への願いをもって、意欲的に生活しようとするができるようにする。 p.112～113	6	①自分たちの教室に来年度入学してくる新しい1年生のために、自分たちにできることを話し合う。 ②～⑤自分たちが1年間に行ってきたことをまとめたものや、学校行事の紹介などの作品を掲示したり、飾り付けをしたりして、新しい1年生のために教室の準備をする。 ⑥教室をきれいに掃除して、新しい1年生を迎える準備をする。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察